



2021年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 株式会社ユーグレナ 上場取引所 東
 コード番号 2931 URL <http://www.euglena.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）出雲 充
 問合せ先責任者（役職名）執行役員CFiO（氏名）若原 智広（TEL）03(3454)4907
 定時株主総会開催予定日 2022年3月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2022年3月28日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年12月期の連結業績（2020年10月1日～2021年12月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

| | 売上高 | | 調整後EBITDA(※) | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に 帰属する当期 純利益 | |
|-----------|--------|------|--------------|---|--------|---|--------|---|-------------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年12月期 | 34,420 | — | 1,368 | — | △6,565 | — | △6,354 | — | △5,038 | — |
| 2020年9月期 | 13,317 | △4.7 | △732 | — | △1,807 | — | △1,457 | — | △1,486 | — |

（※）キャッシュ・フロー重視の経営にシフトする観点から、当社のキャッシュ・フロー創出力を示す指標として調整後EBITDAを開示しております。調整後EBITDAの定義、計算方法につきましては、「3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）」をご覧ください。

（注）1. 包括利益 2021年12月期 △5,853百万円（-%） 2020年9月期 △1,483百万円（-%）
 （注）2. 2022年12月期は決算期変更により15カ月間の変則決算となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期 純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|-----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2021年12月期 | △49.07 | — | △34.1 | △16.5 | △19.1 |
| 2020年9月期 | △16.00 | — | △14.7 | △9.0 | △13.6 |

（参考）持分法投資損益 2021年12月期 58百万円 2020年9月期 △27百万円

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年12月期 | 61,007 | 20,588 | 33.0 | 181.35 |
| 2020年9月期 | 15,351 | 9,386 | 61.0 | 100.58 |

（参考）自己資本 2021年12月期 20,355百万円 2020年9月期 9,363百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|-----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2021年12月期 | 1,378 | △10,338 | 12,062 | 9,820 |
| 2020年9月期 | △1,217 | △350 | 162 | 6,253 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | | 配当金総額(合計) | 配当性向(連結) | 純資産配当率(連結) |
|---------------|--------|--------|--------|--------|------|------|-----------|----------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 第4四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2020年9月期 | — | 0.00 | — | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2021年12月期 | — | 0.00 | — | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2022年12月期(予想) | — | 0.00 | — | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（%表示は対前期増減率）

| | 売上高 | | 調整後EBITDA | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|---|-----------|---|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 48,000 | — | 2,100 | — | — | — | — | — | — | — | — |

（参考）調整後EBITDAは、EBITDA(営業利益+のれん償却費及び減価償却費)+助成金収入+株式関連報酬+棚卸資産ステップアップ影響額、として算出しております。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 2社 （社名）株式会社Q-Partners及びキューサイ株式会社
 除外 1社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

| | | | |
|-----------|--------------|----------|-------------|
| 2021年12月期 | 111,161,886株 | 2020年9月期 | 93,153,322株 |
| 2021年12月期 | 20,431株 | 2020年9月期 | 56,459株 |
| 2021年12月期 | 102,692,699株 | 2020年9月期 | 92,900,464株 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| 連結損益計算書 | 7 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (セグメント情報等) | 13 |
| (1株当たり情報) | 16 |
| (重要な後発事象) | 16 |

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当社は、2021年8月26日開催の臨時株主総会における定款一部変更の決議により、決算期（事業年度の末日）を毎年9月30日から12月31日に変更いたしました。その経過措置として、当連結会計年度は2020年10月1日から2021年12月31日までの15カ月間となっております。このため、対前期増減については記載しておりません。

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び緊急事態宣言の長期化に伴う個人消費の減少等により、国内外で経済活動が停滞し、厳しい状況が続きました。ワクチン接種の進展による回復の兆しもみられましたが、更なる変異株の出現により、本格的な回復時期は、依然として不透明な状況が続いております。一方、消費者の外出自粛による通販需要の拡大や、健康意識の向上による健康食品需要の拡大により、健康食品や化粧品等の通信販売等のヘルスケア事業を主力とする当社グループにとっては成長の機会ともなりました。

このような事業環境のもと、当社のヘルスケア事業においては、2019年より戦略的に取り組んできたブランドポートフォリオの拡充、デジタルマーケティングの強化、流通やECモール等のマルチチャネル展開の拡大等による直販及び流通チャネルの収益拡大により、キューサイ株式会社（以下「キューサイ」）等の新規連結や会計期間の変更といった特殊要因を除いた12カ月ベースの前年同期比で増収となりました。更に、2021年6月30日をみなし取得日として連結子会社化したキューサイによる第4四半期連結会計期間からの収益貢献により、増収幅を拡大しました。以上の結果、売上高は34,420,387千円となり、過去最高を更新しました。

また、当社は、キャッシュ・フロー重視の経営にシフトする観点から、当社のキャッシュ・フロー創出力を示す指標として調整後EBITDAを開示しております（調整後EBITDAの定義、計算方法につきましては、「3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）」をご覧ください）。上述のヘルスケア事業における既存事業の成長軌道への回帰やキューサイの連結子会社化による収益基盤の拡大により、当連結会計年度の調整後EBITDAは1,368,768千円となりました。

一方、キューサイの連結子会社化時における棚卸資産のステップアップ（注1）に伴い棚卸資産に計上した含み益のうち、4,842,370千円を売上原価として費用化したことを主因として、営業損失は6,565,226千円、経常損失は6,354,334千円となり、親会社株主に帰属する当期純損失は5,038,941千円となりました。なお、棚卸資産のステップアップにより計上した含み益の費用化処理の影響は、ステップアップを適用した棚卸資産の残分の払い出しにより、翌連結会計年度中に解消する見込みです。

なお、当連結会計年度の各四半期の業績推移は以下のとおりです。

| | 当第1四半期 連結会計期間 | 当第2四半期 連結会計期間 | 当第3四半期 連結会計期間 | 当第4四半期 連結会計期間 | 当第5四半期 連結会計期間 |
|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 売上高（千円） | 3,910,679 | 3,826,744 | 4,376,126 | 11,178,297 | 11,128,538 |
| 調整後EBITDA(千円) | △129,388 | 345,158 | △86,411 | 896,101 | 343,307 |
| 営業損益（千円） | △365,530 | △143,064 | △335,405 | △3,118,984 | △2,602,242 |
| 経常損益（千円） | △306,434 | 179,012 | △312,781 | △3,216,092 | △2,698,039 |

（注1）棚卸資産のステップアップは、連結時点の棚卸資産を、正味売却価額（売価から見積追加製造原価と見積販売直接経費を控除した金額）に評価替する会計処理となります。当連結会計年度においては、2021年6月30日をみなし取得日として連結子会社化したキューサイにおいて、連結子会社化時における棚卸資産のステップアップにより6,707,000千円の含み益を棚卸資産に計上しており、商品販売による棚卸資産の払出しに伴って当該含み益が売上原価として費用化されます。ステップアップにより計上した含み益の費用化は当社のキャッシュ・フローへの影響を伴うものでないことから、キャッシュ・フロー創出力を示す指標である調整後EBITDAの算出にあたり、当該影響額を足し戻す調整を行っております。

セグメント別の状況については、以下のとおりです。

（ヘルスケア事業）

当連結会計年度は、デジタルマーケティングを軸とした広告宣伝及び販促活動への投資拡大等により、通販定期顧客数が純増に転じ、キューサイを除く当社グループの定期顧客数は過去最高となりました。また、プロモーション活動や取扱商品の拡充により、流通チャネルでの収益も拡大しました。更に、当連結会計年度中に株式会社LIGUNA及びキューサイが当社の連結子会社となり、それぞれ連結業績へ収益貢献しました。以上の結果、セグメント売上高は34,354,219千円となり、過去最高を更新しました。

一方、セグメント損益においては、上述のキューサイの連結子会社化以降に、棚卸資産のステップアップにより計上した含み益のうち4,842,370千円を売上原価として費用化するとともに、取得原価の配分にあたり識別した無形資産及びのれんの償却費905,255千円を計上いたしました。以上の結果、セグメント損失は3,641,267千円となりました。

(エネルギー・環境事業)

エネルギー・環境事業においては、2020年3月に本格稼働を開始したバイオジェット・ディーゼル燃料実証プラント（以下「実証プラント」）におけるバイオ燃料の実証研究、実証製造を継続するとともに、バイオジェット・ディーゼル燃料商業プラント（以下「商業プラント」）の建設に向けた取り組みを推進しています。2021年3月に、実証プラントにおいて、使用済み食用油や微細藻類ユーグレナを原料とするASTM D7566 Annex6規格（微細藻類や廃食用油などの生物系油脂を原料として BIC プロセスにより製造した純バイオジェット燃料に対して ASTM Internationalが定める国際規格）に適合したバイオジェット燃料が完成し、2021年6月に当社製造のバイオジェット燃料（ブランド名「サステオ」）を使用した国土交通省飛行検査機及び民間航空機でのフライトを実現しました。また、商業プラントの建設に向けて、建設想定地における予備的基本設計（実行可能性調査の後に行われ、基本設計の前段階の概念設計等）を開始する等、事業は着実に進捗しております。

研究開発活動については、2020年10月に、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が公募した「バイオジェット燃料生産技術開発事業／実証を通じたサプライチェーンモデルの構築、微細藻類基盤技術開発」に、当社が進めているバイオジェット燃料製造の実証事業及び燃料用微細藻類の海外培養実証に関する研究開発が採択され、インドネシアにおいて微細藻類ユーグレナの大規模培養実証の準備を進めてきましたが、コロナ禍及び現地パートナー事情により難航しており、引き続き海外における大規模培養実証・商業化を目指すものの、一旦は国内を中心とした実証への計画変更を検討しております。

以上の結果、当連結会計年度は、セグメント売上高66,168千円、セグメント損失は1,341,607千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は61,007,734千円となり、前連結会計年度末と比較して45,656,639千円の増加となりました。これは主にキューサイの連結子会社化によって商品及び製品が3,766,544千円、有形固定資産が3,547,468千円、のれんが12,073,431千円、顧客関連資産が16,725,085千円増加したことによるものです。なお、商品及び製品にはキューサイの連結子会社化時の棚卸資産のステップアップにより計上した含み益6,707,000千円のうち、費用化されていない残高である1,864,630千円が含まれております。

負債は40,418,874千円となり、前連結会計年度末と比較して34,454,535千円の増加となりました。これは主にキューサイの連結子会社化によって長期借入金19,382,104千円、繰延税金負債が6,132,367千円増加したことによるものです。

純資産は、主に海外募集による新株式発行によって13,100,051千円を調達したことにより、前連結会計年度末から11,202,100千円増加し、20,588,859千円となりました。この結果、自己資本比率は33.0%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末から3,566,723千円増加し、9,820,624千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純損失6,737,453千円が計上されておりますが、減価償却費1,670,778千円及びのれん償却額521,121千円、棚卸資産の減少4,913,587千円を計上したことにより、1,378,499千円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、Q-Partners株式の取得による支出9,838,150千円等により、10,338,772千円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、新株式発行による収入12,940,472千円等により、12,062,322千円の収入となりました。

(4) 今後の見通し

次期の連結業績見通しといたしましては、ヘルスケア事業においては、当連結会計年度中に純増に転じた定期購入顧客からの商品購買に加えて、デジタルマーケティング及びブランディングへの投資、マルチチャネル化に向けた取組みの強化並びに当連結会計年度に連結子会社となったキューサイが通期に渡り収益貢献すること等により、

セグメント売上高は過去最高となる見込みです。

エネルギー・環境事業においては、実証プラントの運転や微細藻類ユーグレナの大規模培養実証を継続する他、バイオジェット・ディーゼル燃料製造商業プラントの建設に向けた取り組みを推進すること等により、セグメント損益は赤字が継続する見込みです。また、バイオジェット燃料製造の実証事業及び燃料用微細藻類の海外培養実証に対する助成金収入を見込んでいます。

以上の結果、売上高は過去最高の48,000百万円、調整後EBITDAは2,100百万円となる見込みです。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年9月30日) | 当連結会計年度 (2021年12月31日) |
|-------------|-------------------------|--------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,253,900 | 9,900,624 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,076,070 | 3,182,255 |
| 有価証券 | — | 285,340 |
| 商品及び製品 | 805,920 | 4,572,465 |
| 仕掛品 | 44,636 | 744,762 |
| 原材料及び貯蔵品 | 949,842 | 1,144,292 |
| その他 | 669,477 | 673,020 |
| 貸倒引当金 | △8,292 | △64,383 |
| 流動資産合計 | 9,791,554 | 20,438,377 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 3,068,137 | 7,314,680 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,488,471 | 3,375,030 |
| 工具、器具及び備品 | 391,575 | 1,396,667 |
| 土地 | 900,520 | 2,499,773 |
| リース資産 | 25,946 | 109,588 |
| 建設仮勘定 | 6,253 | 5,457 |
| 減価償却累計額 | △2,576,423 | △7,849,249 |
| 有形固定資産合計 | 3,304,480 | 6,851,949 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 961,239 | 13,034,671 |
| 顧客関連資産 | 285,941 | 17,011,026 |
| その他 | 312,416 | 1,858,079 |
| 無形固定資産合計 | 1,559,597 | 31,903,777 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 319,946 | 397,252 |
| 差入保証金 | 283,979 | 317,686 |
| 繰延税金資産 | 8,291 | 740,246 |
| その他 | 83,248 | 395,616 |
| 貸倒引当金 | — | △37,173 |
| 投資その他の資産合計 | 695,465 | 1,813,629 |
| 固定資産合計 | 5,559,543 | 40,569,356 |
| 資産合計 | 15,351,098 | 61,007,734 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年9月30日) | 当連結会計年度 (2021年12月31日) |
|---------------|-------------------------|--------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 260,402 | 1,082,104 |
| 短期借入金 | 547,425 | 2,287,746 |
| 未払金 | 935,975 | 3,715,753 |
| リース債務 | 291 | 8,898 |
| 未払法人税等 | 8,500 | 486,483 |
| 賞与引当金 | 28,800 | 267,344 |
| ポイント引当金 | 22,200 | 1,202,169 |
| 事業構造改善引当金 | — | 31,319 |
| 資産除去債務 | 24,620 | — |
| その他 | 332,185 | 1,552,228 |
| 流動負債合計 | 2,160,401 | 10,634,047 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,216,532 | 22,598,636 |
| リース債務 | 24 | 14,285 |
| 役員退職慰労引当金 | — | 52,647 |
| 退職給付に係る負債 | 19,839 | 390,482 |
| 資産除去債務 | 399,080 | 427,027 |
| 繰延税金負債 | 164,805 | 6,297,173 |
| その他 | 3,656 | 4,574 |
| 固定負債合計 | 3,803,938 | 29,784,827 |
| 負債合計 | 5,964,339 | 40,418,874 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,323,548 | 13,888,478 |
| 資本剰余金 | 2,229,643 | 11,602,445 |
| 利益剰余金 | △84,993 | △5,273,240 |
| 自己株式 | △94,737 | △34,282 |
| 株主資本合計 | 9,373,460 | 20,183,400 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,802 | △2,121 |
| 為替換算調整勘定 | △8,227 | △20,625 |
| 退職給付に係る調整累計額 | — | △5,035 |
| その他の包括利益累計額合計 | △10,029 | △27,782 |
| 新株予約権 | 13,556 | 427,696 |
| 非支配株主持分 | 9,771 | 5,545 |
| 純資産合計 | 9,386,758 | 20,588,859 |
| 負債純資産合計 | 15,351,098 | 61,007,734 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年12月31日) |
|---|---|--|
| 売上高 | 13,317,316 | 34,420,387 |
| 売上原価 | 3,825,098 | 12,951,062 |
| 売上総利益 | 9,492,218 | 21,469,324 |
| 販売費及び一般管理費 | 11,299,938 | 28,034,551 |
| 営業損失(△) | △1,807,720 | △6,565,226 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,008 | 379 |
| 助成金収入 | 329,227 | 334,268 |
| 受取手数料 | 12,000 | 45,705 |
| 為替差益 | 2,054 | 5,121 |
| 持分法による投資利益 | — | 58,412 |
| 保険解約返戻金 | — | 143,160 |
| その他 | 43,949 | 107,706 |
| 営業外収益合計 | 389,239 | 694,753 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8,957 | 306,315 |
| 株式交付費 | — | 160,160 |
| 持分法による投資損失 | 27,492 | — |
| その他 | 2,759 | 17,385 |
| 営業外費用合計 | 39,208 | 483,861 |
| 経常損失(△) | △1,457,689 | △6,354,334 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 1,662 | 12,296 |
| 固定資産売却益 | 365 | 299 |
| 投資有価証券売却益 | 36,278 | — |
| 持分変動利益 | 12,856 | — |
| 段階取得に係る差益 | — | 174,000 |
| 特別利益合計 | 51,162 | 186,596 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 256 |
| 減損損失 | 26,672 | 54,896 |
| 持分変動損失 | — | 5,791 |
| 投資有価証券評価損 | 1,027 | 42,542 |
| 抱合せ株式消滅差損 | — | 4,275 |
| 事業構造改善引当金繰入額 | — | 461,952 |
| 特別損失合計 | 27,699 | 569,715 |
| 税金等調整前当期純損失(△) | △1,434,226 | △6,737,453 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 153,443 | 492,342 |
| 法人税等調整額 | △101,170 | △1,392,464 |
| 法人税等合計 | 52,272 | △900,121 |
| 当期純損失(△) | △1,486,498 | △5,837,331 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△) | 188 | △798,390 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | △1,486,686 | △5,038,941 |

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年12月31日) |
|------------------|---|--|
| 当期純損失(△) | △1,486,498 | △5,837,331 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △428 | △318 |
| 為替換算調整勘定 | 4,013 | △13,589 |
| 退職給付に係る調整額(税引前) | — | △5,035 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △244 | 2,387 |
| その他の包括利益合計 | 3,340 | △16,556 |
| 包括利益 | △1,483,157 | △5,853,888 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | △1,485,199 | △5,056,694 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 2,041 | △797,194 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|------------|------------|----------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 7,318,148 | 11,880,107 | △8,224,708 | △150,597 | 10,822,948 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | 5,400 | 5,400 | | | 10,800 |
| 合併による増加 | | | | | — |
| 欠損填補 | | △9,655,863 | 9,655,863 | | — |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | △1,486,686 | | △1,486,686 |
| 株式交換による増加 | | | | | — |
| 自己株式の処分 | | △29,461 | | 55,860 | 26,398 |
| 自己株式処分差損の振替 | | 29,461 | △29,461 | | — |
| 連結範囲の変動 | | | | | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | — |
| 当期変動額合計 | 5,400 | △9,650,463 | 8,139,715 | 55,860 | △1,449,487 |
| 当期末残高 | 7,323,548 | 2,229,643 | △84,993 | △94,737 | 9,373,460 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|---------------|--------|---------|------------|
| | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | △1,374 | △10,143 | △11,517 | 15,219 | 7,730 | 10,834,380 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 新株の発行 | | | | | | 10,800 |
| 合併による増加 | | | | | | — |
| 欠損填補 | | | | | | — |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | | | | △1,486,686 |
| 株式交換による増加 | | | | | | — |
| 自己株式の処分 | | | | | | 26,398 |
| 自己株式処分差損の振替 | | | | | | — |
| 連結範囲の変動 | | | | | | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △428 | 1,915 | 1,487 | △1,662 | 2,041 | 1,866 |
| 当期変動額合計 | △428 | 1,915 | 1,487 | △1,662 | 2,041 | △1,447,621 |
| 当期末残高 | △1,802 | △8,227 | △10,029 | 13,556 | 9,771 | 9,386,758 |

当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 千円)

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------|------------|------------|------------|---------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 7,323,548 | 2,229,643 | △84,993 | △94,737 | 9,373,460 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | 6,564,930 | 6,564,930 | | | 13,129,860 |
| 合併による増加 | | | | | — |
| 欠損填補 | | | | | — |
| 親会社株主に帰属する当期純損失 (△) | | | △5,038,941 | | △5,038,941 |
| 株式交換による増加 | | 2,807,871 | | | 2,807,871 |
| 自己株式の処分 | | △31,416 | | 60,454 | 29,038 |
| 自己株式処分差損の振替 | | 31,416 | △31,416 | | — |
| 連結範囲の変動 | | | △117,889 | | △117,889 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | | | | | — |
| 当期変動額合計 | 6,564,930 | 9,372,801 | △5,188,247 | 60,454 | 10,809,939 |
| 当期末残高 | 13,888,478 | 11,602,445 | △5,273,240 | △34,282 | 20,183,400 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|----------------------|------------------|--------------|------------------|-------------------|---------|---------|------------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘 定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利 益累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | △1,802 | △8,227 | — | △10,029 | 13,556 | 9,771 | 9,386,758 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 新株の発行 | | | | | | | 13,129,860 |
| 合併による増加 | | | | | | | — |
| 欠損填補 | | | | | | | — |
| 親会社株主に帰属する当期純損失 (△) | | | | | | | △5,038,941 |
| 株式交換による増加 | | | | | | | 2,807,871 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | 29,038 |
| 自己株式処分差損の振替 | | | | | | | — |
| 連結範囲の変動 | | | △5,035 | △5,035 | | | △122,925 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | △318 | △12,397 | | △12,716 | 414,140 | △4,226 | 397,197 |
| 当期変動額合計 | △318 | △12,397 | △5,035 | △17,752 | 414,140 | △4,226 | 11,202,100 |
| 当期末残高 | △2,121 | △20,625 | △5,035 | △27,782 | 427,696 | 5,545 | 20,588,859 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年12月31日) |
|----------------------------|---|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純損失 (△) | △1,434,226 | △6,737,453 |
| 減価償却費 | 567,511 | 1,670,778 |
| のれん償却額 | 151,307 | 521,121 |
| 減損損失 | 26,672 | 54,896 |
| 株式報酬費用 | 27,298 | 569,206 |
| 段階取得に係る差損益 (△は益) | — | △174,000 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 42,542 |
| 有価証券評価損益 (△は益) | 1,027 | — |
| 有価証券売却損益 (△は益) | △49,134 | — |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | — | △43 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △264 | 9,336 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △10,960 | 12,328 |
| 退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 3,670 | △20,842 |
| 事業構造改善引当金の増減額 (△は減少) | — | 31,319 |
| 受取利息及び受取配当金 | △681 | △518 |
| 助成金収入 | △329,227 | △334,268 |
| 新株予約権戻入益 | △1,662 | △12,296 |
| 支払利息 | 8,957 | 306,315 |
| 株式交付費 | — | 159,791 |
| 為替差損益 (△は益) | — | △600 |
| 抱合せ株式消滅差損益 (△は益) | — | 4,275 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | 27,492 | △58,412 |
| 持分変動損益 (△は益) | — | 5,791 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 1,806 | △209,373 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 236,790 | 4,913,587 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △119,584 | △12,910 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 29,435 | 133,820 |
| 未払又は未収消費税等の増減額 (△は増加) | △100,623 | △80,581 |
| その他 | △45,025 | 1,152,470 |
| 小計 | △1,009,421 | 1,946,280 |
| 利息及び配当金の受取額 | 104,962 | 4,540 |
| 助成金の受取額 | 277,647 | 398,035 |
| 利息の支払額 | △2,545 | △308,342 |
| 法人税等の支払額 | △621,453 | △865,877 |
| 法人税等の還付額 | 33,337 | 203,862 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,217,472 | 1,378,499 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の増減額 (△は増加) | 41,848 | △80,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △157,529 | △198,267 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 854 | 407 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △235,803 | △246,526 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △9,999 | △5,960 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 36,843 | — |
| 差入保証金の差入による支出 | △31,248 | △15,505 |
| 差入保証金の回収による収入 | 2,279 | 73,482 |
| 資産除去債務の履行による支出 | — | △31,726 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △9,838,150 |
| その他 | 2,222 | 3,470 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △350,533 | △10,338,772 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年12月31日) |
|------------------------------------|---|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の増減額 (△は減少) | △2,901 | 28,450 |
| 長期借入れによる収入 | 580,000 | 610,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △474,360 | △1,510,300 |
| リース債務の返済による支出 | △647 | △6,274 |
| 株式の発行による収入 | 10,800 | 12,940,447 |
| 非支配株主からの払込みによる収入 | 50,000 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 162,891 | 12,062,322 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △519 | 4,202 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △1,405,632 | 3,106,251 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,791,799 | 6,253,900 |
| 株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加額 | — | 455,514 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △132,266 | 4,957 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 6,253,900 | 9,820,624 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ヘルスケア事業」及び「エネルギー・環境事業」の2つを報告セグメントとしております。

各セグメントの主なサービス及び製品の種類は、以下のとおりであります。

「ヘルスケア事業」… ユーグレナ等を利用した食品、化粧品等のOEM供給、自社製品の企画・販売

「エネルギー・環境事業」… ユーグレナを中心とした微細藻類の技術開発、受託研究、及びバイオ燃料の将来の事業化に向けての研究開発等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表の作成の基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 連結財務諸表 計上額 (注2) |
|--------------------|------------|----------------|------------|-------------|-----------------------|
| | ヘルスケア事業 | エネルギー・ 環境事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 13,301,697 | 15,618 | 13,317,316 | — | 13,317,316 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 13,301,697 | 15,618 | 13,317,316 | — | 13,317,316 |
| セグメント利益又は損失(△) | 115,301 | △986,086 | △870,784 | △936,935 | △1,807,720 |
| セグメント資産 | 9,646,788 | 543,672 | 10,190,461 | 5,160,637 | 15,351,098 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 382,130 | 107,907 | 490,037 | 77,473 | 567,511 |
| のれん償却額 | 151,307 | — | 151,307 | — | 151,307 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 323,265 | 28,634 | 351,899 | 6,686 | 358,585 |

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

①セグメント利益又は損失(△)の調整額△936,935千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

②セグメント資産の調整額5,160,637千円は各報告セグメントに配分していない現預金4,192,640千円等が含まれております。

③減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費、増加額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と、セグメント資産は連結貸借対照表の資産合計と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 連結財務諸表 計上額 (注2) |
|--------------------|------------|----------------|------------|-------------|-----------------------|
| | ヘルスケア事業 | エネルギー・ 環境事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 34,354,219 | 66,168 | 34,420,387 | — | 34,420,387 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 34,354,219 | 66,168 | 34,420,387 | — | 34,420,387 |
| セグメント損失 (△) | △3,641,267 | △1,341,607 | △4,982,874 | △1,582,352 | △6,565,226 |
| セグメント資産 | 52,797,604 | 664,164 | 53,461,768 | 7,545,965 | 61,007,734 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 1,470,736 | 106,753 | 1,577,490 | 93,288 | 1,670,778 |
| のれん償却額 | 521,121 | — | 521,121 | — | 521,121 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 423,619 | 55,602 | 479,221 | 31,797 | 511,019 |

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- ①セグメント損失 (△) の調整額△1,582,352千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。
 - ②セグメント資産の調整額7,545,965千円は各報告セグメントに配分していない現預金4,983,938千円等が含まれております。
 - ③減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費、増加額であります。
2. セグメント損失 (△) は、連結損益計算書の営業損失と、セグメント資産は連結貸借対照表の資産合計と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

有形固定資産全体に占める本邦の割合が90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

有形固定資産全体に占める本邦の割合が90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

| | ヘルスケア事業 | エネルギー・環境事業 | 計 | 調整額 | 合計 |
|------|---------|------------|--------|-----|--------|
| 減損損失 | 26,672 | — | 26,672 | — | 26,672 |

当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

| | ヘルスケア事業 | エネルギー・環境事業 | 計 | 調整額 | 合計 |
|------|---------|------------|--------|-----|--------|
| 減損損失 | 54,896 | — | 54,896 | — | 54,896 |

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

| | ヘルスケア事業 | エネルギー・環境事業 | 計 | 調整額 | 合計 |
|-------|---------|------------|---------|-----|---------|
| 当期償却額 | 151,307 | — | 151,307 | — | 151,307 |
| 当期末残高 | 961,239 | — | 961,239 | — | 961,239 |

当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

| | ヘルスケア事業 | エネルギー・環境事業 | 計 | 調整額 | 合計 |
|-------|------------|------------|------------|-----|------------|
| 当期償却額 | 521,121 | — | 521,121 | — | 521,121 |
| 当期末残高 | 13,034,671 | — | 13,034,671 | — | 13,034,671 |

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年12月31日) |
|------------|---|--|
| 1株当たり純資産額 | 100.58円 | 181.35円 |
| 1株当たり当期純損失 | 16.00円 | 49.07円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年12月31日) |
|---|---|--|
| 1株当たり当期純損失 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(千円) | 1,486,686 | 5,038,941 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(千円) | 1,486,686 | 5,038,941 |
| 期中平均株式数(株) | 92,900,464 | 102,692,699 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | 第4回新株予約権(13,613個)、 第5回新株予約権(10,872個) | 第5回新株予約権(10,500個) |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。